

佐野市景況レポート

令和2年7～9月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

下げ止まりするも厳しい状況が続く

【 令和2年7～9月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲49.6、前期（6月期）比+8.7ポイントと改善しました。利益DI指数▲51.3（前期比+11.5）、売上高DI指数▲51.0（前期比+10.9）と改善し底を打ったように見えますが、指数値は依然深刻な状況です。仕入価格DI指数9.4（前期比+10.6）、販売価格DI指数▲5.2（前期比+5.9）、在庫DI指数4.5（前期比▲6.6）、設備稼働DI指数▲25.1（前期比+5.0）、資金繰りDI指数▲24.0（前期比+8.3）と、前期に比べ改善するも、設備稼働率と資金繰りなどの指数は深刻な状況を示しています。

【 令和2年10～12月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲46.1（前期比+9.4）と、今後3ヶ月間も改善するが厳しい業況を予想しています。売上高DI指数▲42.5（前期比+16.4）、販売価格指数▲8.9（前期比+2.3）と、今後も売上高DI指数と販売価格指数ともに厳しい指数であるが改善を予想しています。

【 事業所等の景況コメント他 】

景況に関するコメントには、「影響はほとんどない」から「現状は最悪」と、業種間で大きく異なっています。今後の予想も、「回復傾向にある」から「先行きが分からない」、「これから悪くなる」と、業種間、同業種内でも異なるコメントを頂きました。

特に注目したコメントに、「コロナ終息後のチャンスをものにする準備・・・」、「今出来ること1つ1つ向き合ってやっていく」があります。自社で出来ることを目標と定めやっていくことが大切です。『無常』（全ての物事は移り変わっていく）の言葉が表すように、元に戻ることを考えずに、新様式に対応する、新しいものを生み出すことが重要であると思います。

〔佐野市内における業況天気図〕

| | 実 績 (令和2年7～9月期) | | 見通し (令和2年10～12月期) | |
|---------|-----------------|--|-------------------|---|
| 業 況 | ▲49.6 | | ▲46.1 | |
| 売 上 高 | ▲51.0 | | ▲42.5 | |
| 販 売 価 格 | ▲ 5.2 | | ▲ 8.9 | |
| 仕 入 価 格 | 9.4 | | 5.6 | |
| 労 働 力 | ▲8.2 | | — | — |

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

| | | | | |
|------|-------|--------|---------|-------|
| | | | | |
| 晴れ | 薄日 | 曇り | 小雨 | 雨 |
| 26以上 | 11～25 | 10～▲10 | ▲11～▲25 | ▲26以下 |

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について（令和2年7～9月期実績）

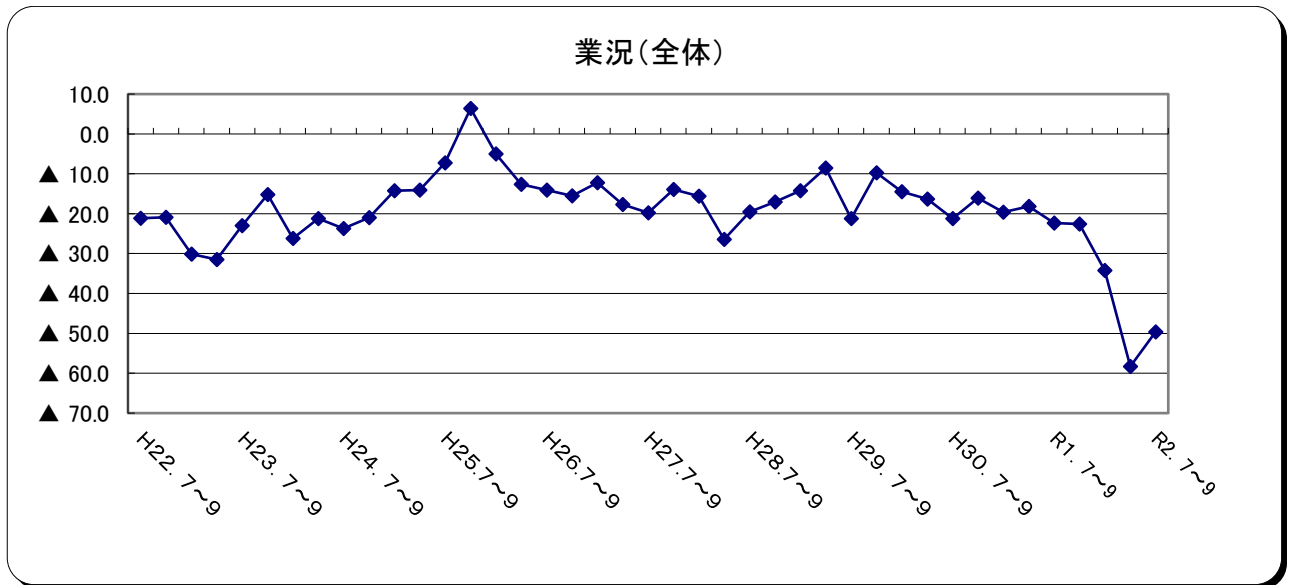


全業種DI指数▲49.6、前期比8.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業▲15.0ポイント、②設備業▲20.9ポイント、③その他の製造業▲30.0ポイント、④サービス業▲35.5ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲46.9ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和2年7～9月期実績）

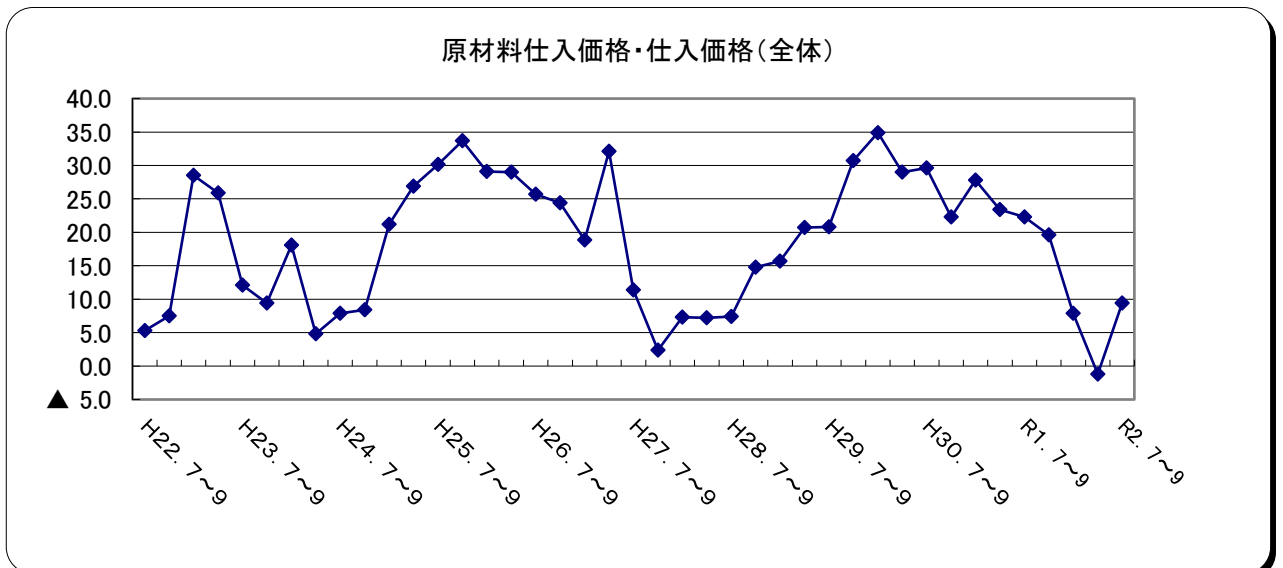


全業種DI指数9.4、前期比10.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業23.1ポイント、②建設業18.1ポイント、③その他の小売業(大型店含む)17.1ポイント、④機械・金属製造業13.6ポイント、⑤飲食店12.7ポイント

上昇
↑
下落



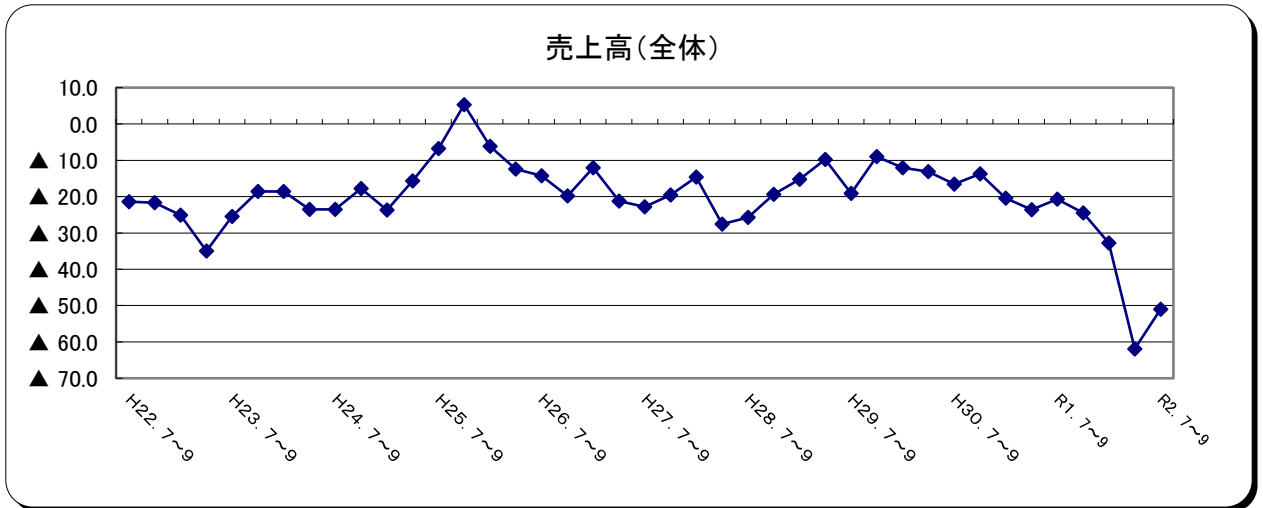
☆ 売上高について（令和2年7～9月期実績）



全業種DI指数▲51.0、前期比10.9ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業▲15.0ポイント、②その他の製造業▲30.0ポイント、③建設業▲35.1ポイント、④サービス業▲35.5ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲37.5ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和2年7～9月期実績）



全業種DI指数▲5.2、前期比5.9ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)5.5ポイント、②サービス業2.9ポイント、③その他の製造業0.0ポイント、④化学・プラスチック製造業▲3.2ポイント、⑤食品製造業▲5.5ポイント

上昇
↑
↓
下落

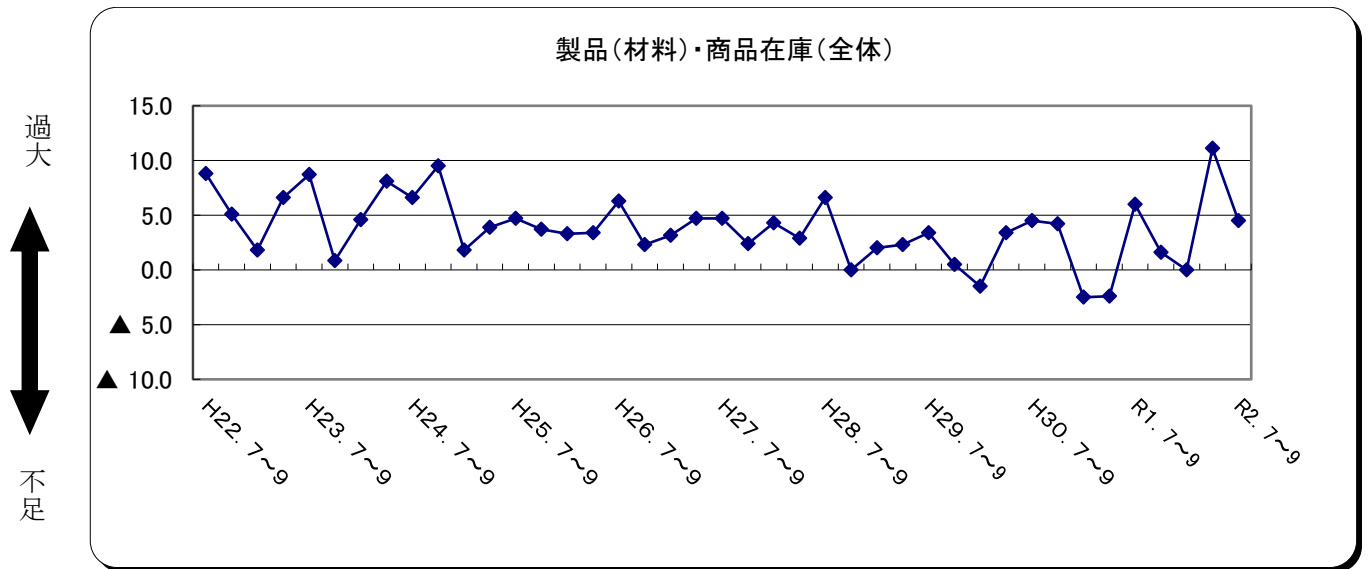


☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和2年7～9月期実績）



全業種 DI 指数 4.5、前期比▲6.6ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業 33.3ポイント、②化学・プラスチック製造業 16.9ポイント、③機械・金属製造業 14.0ポイント、④その他の製造業 7.3ポイント、⑤食品製造業 5.7ポイント

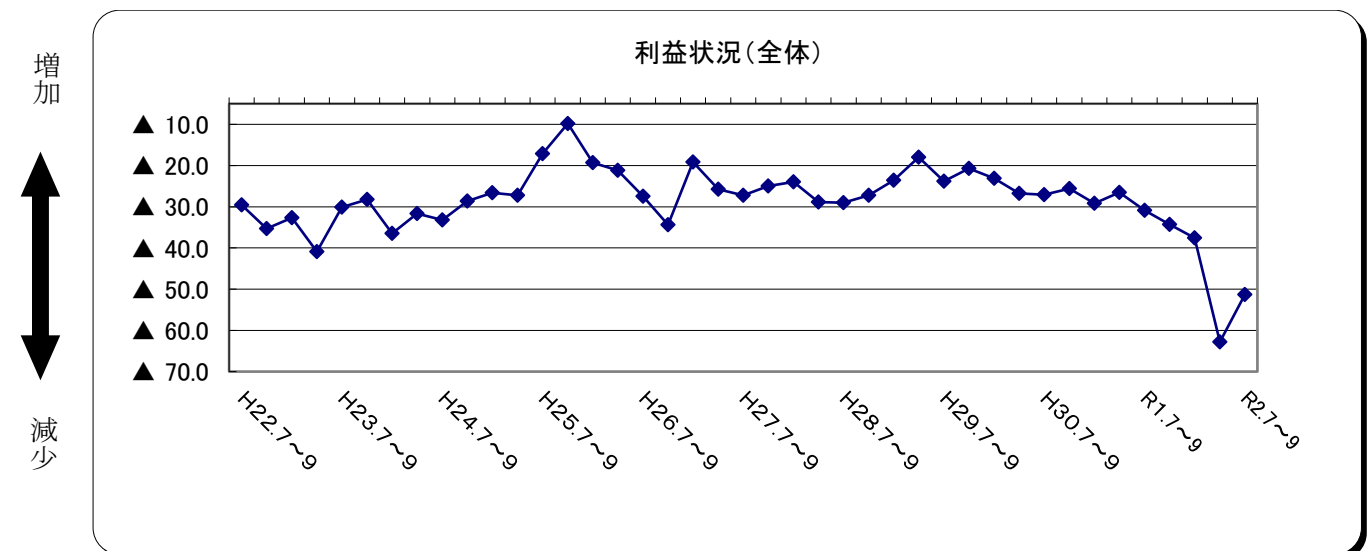


☆ 利益状況について（令和2年7～9月期実績）



全業種 DI 指数▲51.3、前期比 11.5ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①設備業▲28.6ポイント、②その他の製造業▲30.0ポイント、③建設業▲34.2ポイント、④サービス業▲38.3ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲41.5ポイント



☆ 資金繰りについて (令和2年7~9月期実績)

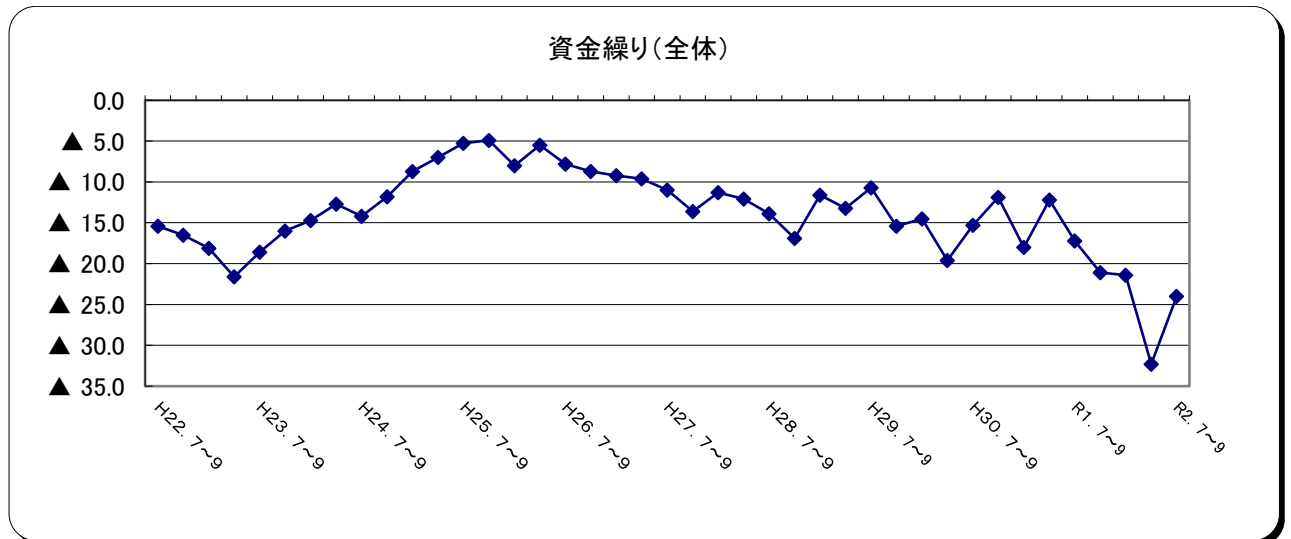


全業種 DI 指数▲24.0、前期比 8.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 7.3 ポイント、②建設業▲7.1 ポイント、③機械・金属製造業▲17.2 ポイント、④サービス業▲20.8 ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲21.7 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和2年7~9月期実績)

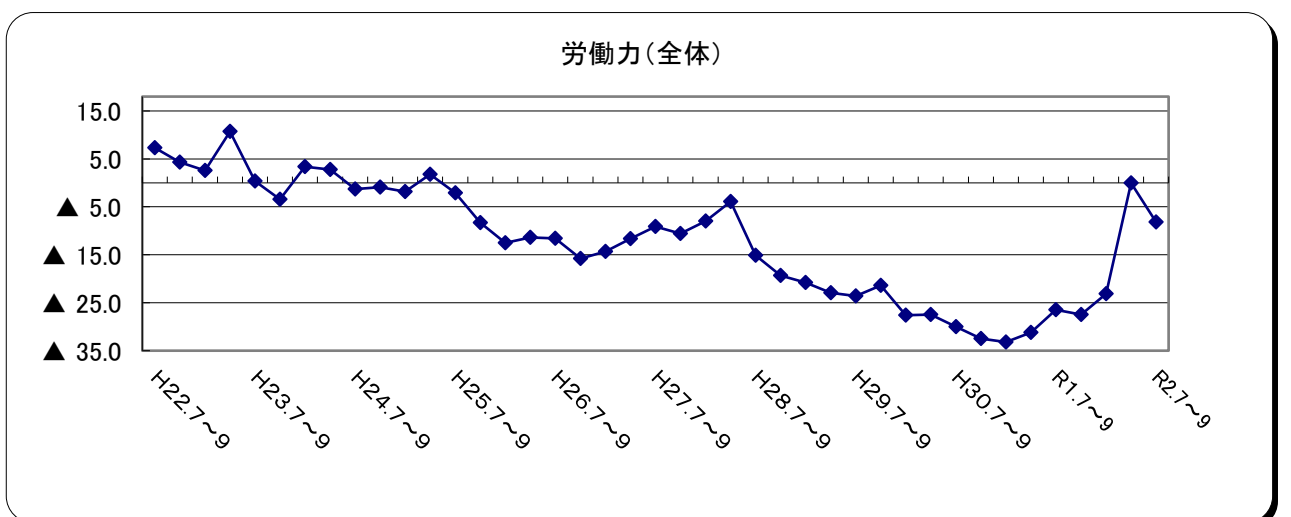


全業種 DI 指数▲8.2、前期比▲8.2 ポイント低下

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①繊維品製造業 24.3 ポイント、②化学・プラスチック製品製造業 17.6 ポイント、③飲食店 8.8 ポイント、④その他の製造業、機械・金属製造業 0.0 ポイント、⑤卸売業▲5.9 ポイント

過剰
↑
↓
不足

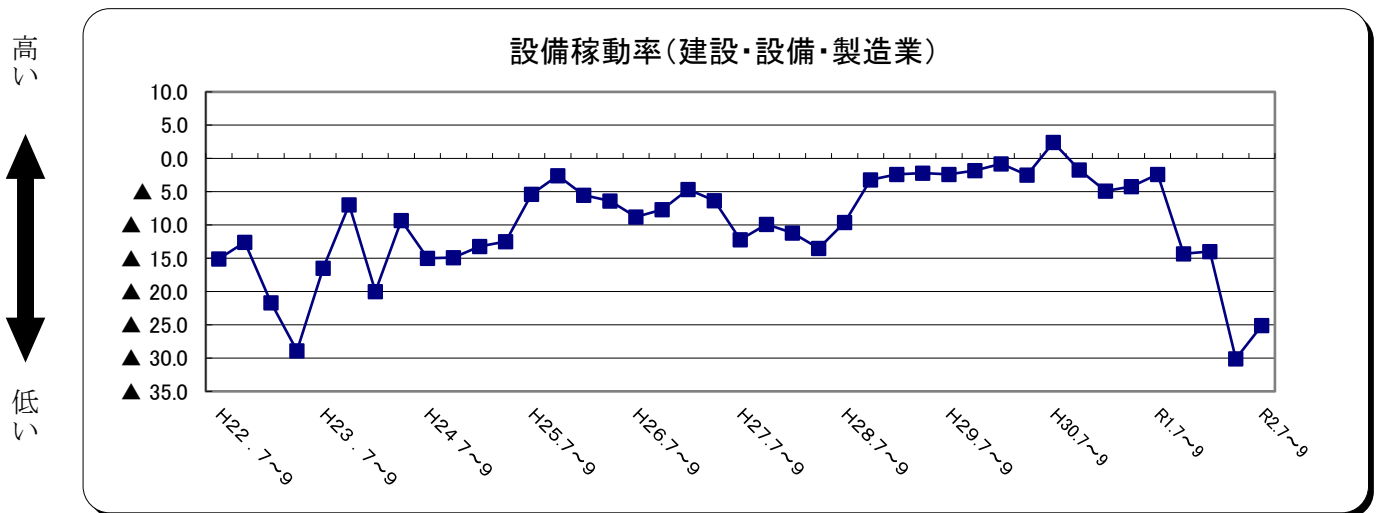


☆ 設備稼働率について (令和2年7~9月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



全業種 DI 指数 ▲25.1、前期比 5.0 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 ▲7.0 ポイント、②建設業 ▲10.8 ポイント、③食品製造業 ▲13.0 ポイント、④設備業 ▲20.9 ポイント、⑤機械・金属製造業 ▲36.6 ポイント

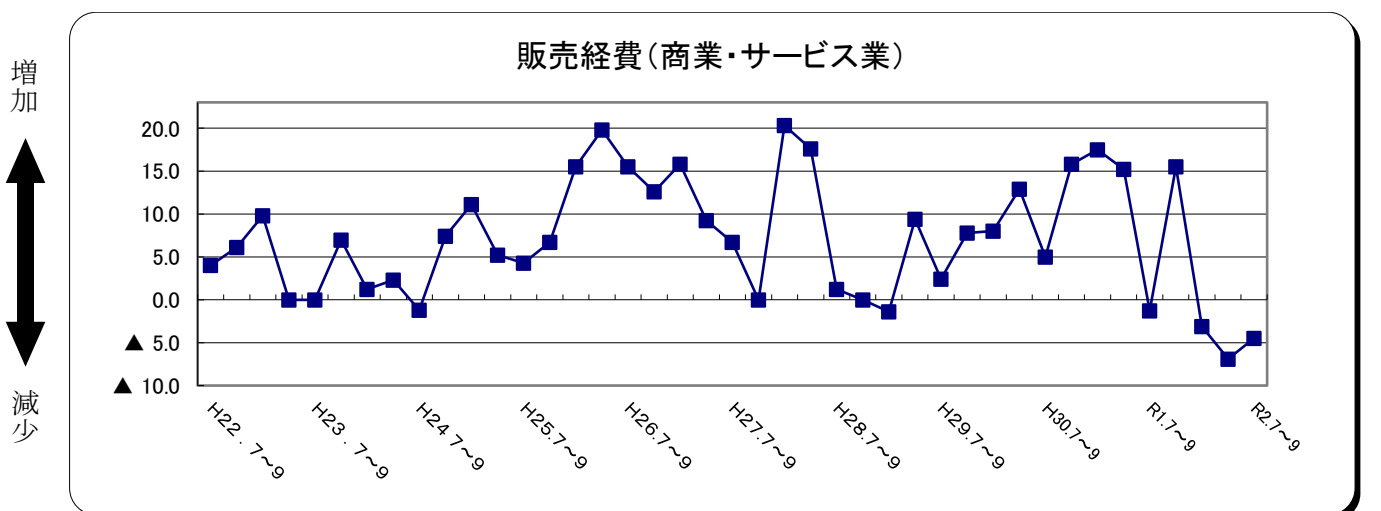


☆ 販売経費について (令和2年7~9月期実績)
(商業・サービス業関係)



全業種 DI 指数 ▲4.5、前期比 2.4 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①サービス業、小売業(飲・食料品) 0.0 ポイント、②飲食店 ▲4.5 ポイント、③卸売業 ▲6.1 ポイント、④その他の小売業(大型店含む) ▲13.0 ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和2年10～12月期の見通し）の業況について

天気図



全業種DI指数▲46.1、前期比9.4ポイント上昇

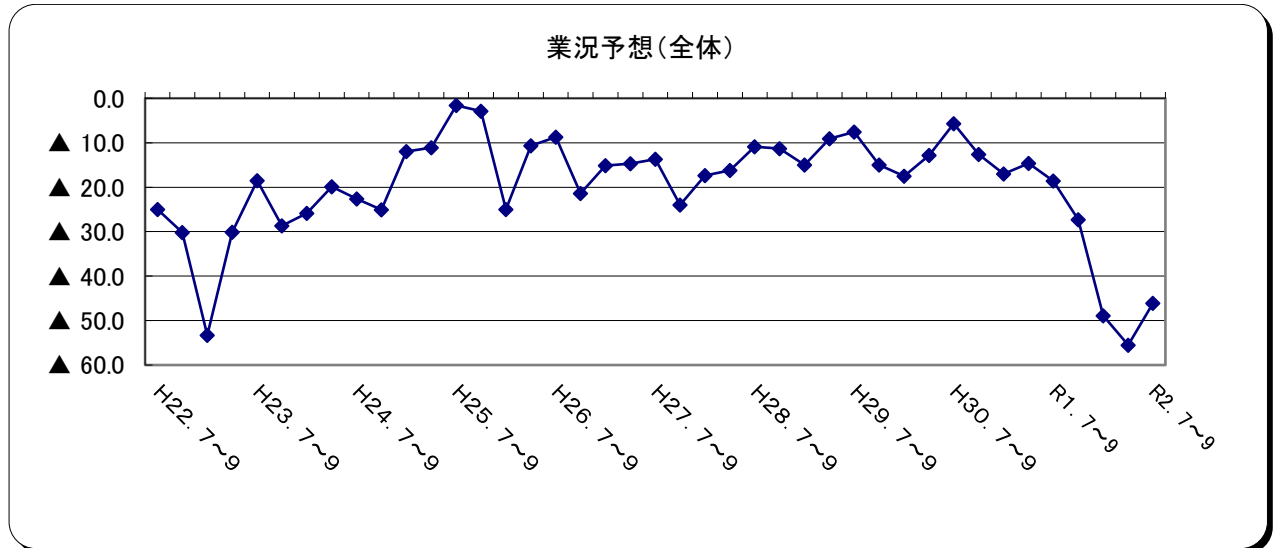
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業▲11.7ポイント、②その他の製造業▲30.0ポイント、③機械・金属製造業▲40.7ポイント、④サービス業▲41.1ポイント、⑤小売業（飲・食料品）、卸売業▲44.7ポイント

良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和2年10～12月期の見通し）の売上高について

天気図



全業種DI指数▲42.5、前期比16.4ポイント上昇

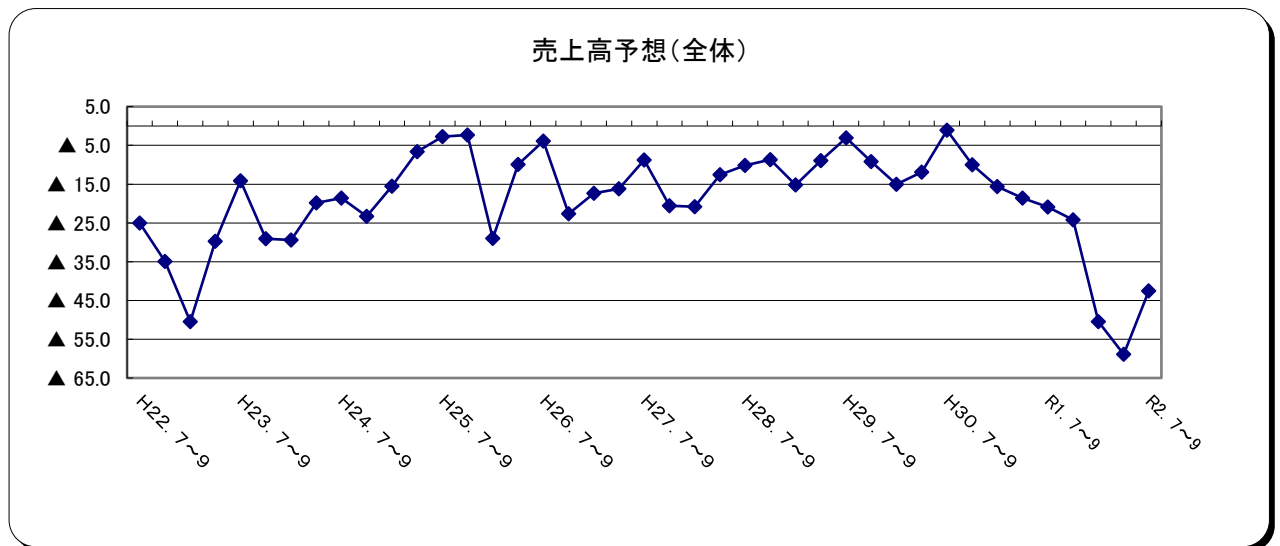
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業0.0ポイント、②サービス業▲44.1ポイント、③その他の製造業▲48.4ポイント、④小売業（飲・食料品）、食品製造業、機械・金属製造業▲51.4ポイント、⑤化学・プラスチック製造業、設備業▲51.2ポイント

良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和2年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

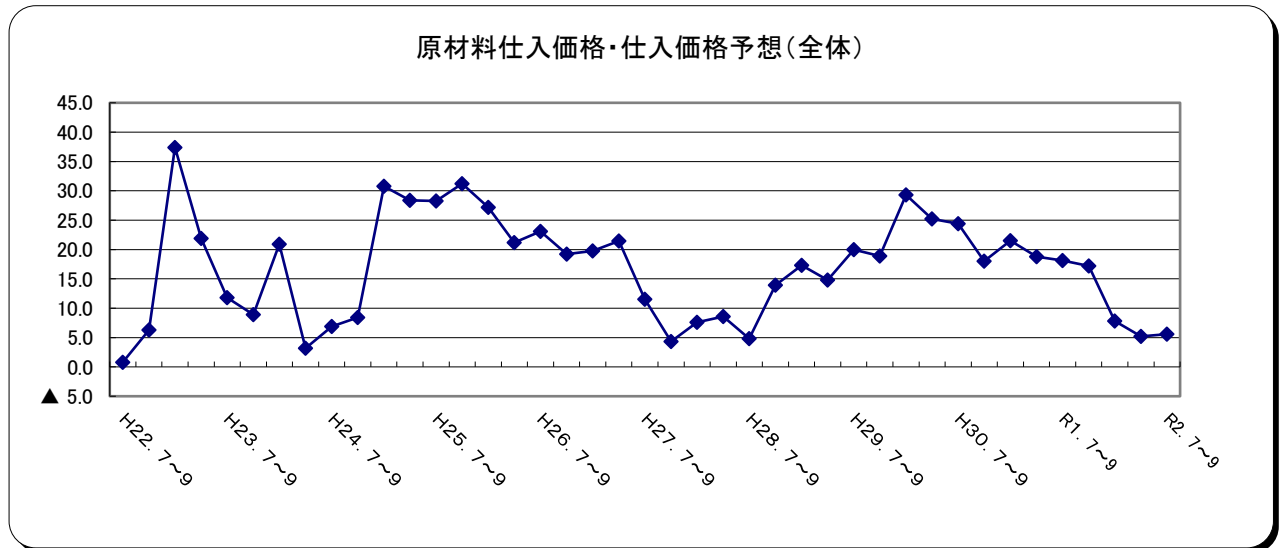


全業種DI指数 5.6、前期比 0.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 17.0ポイント、②繊維品製造業 15.8ポイント、③建設業 10.6ポイント、④機械・金属製造業 6.7ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 6.5ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和2年10～12月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

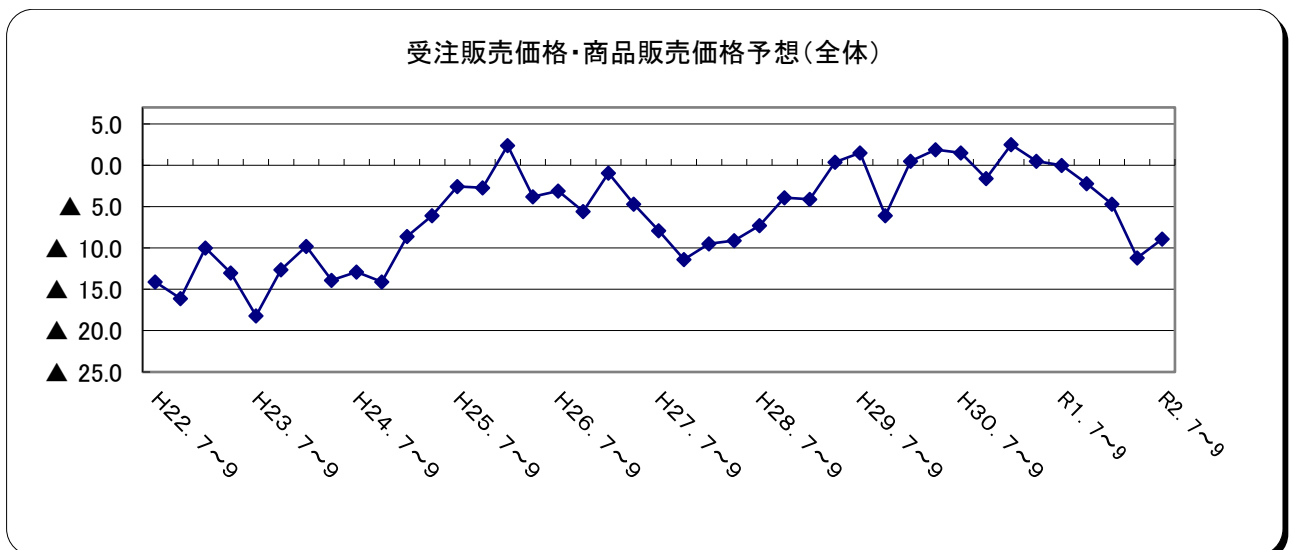


全業種DI指数▲8.9、前期比 2.3ポイント上昇

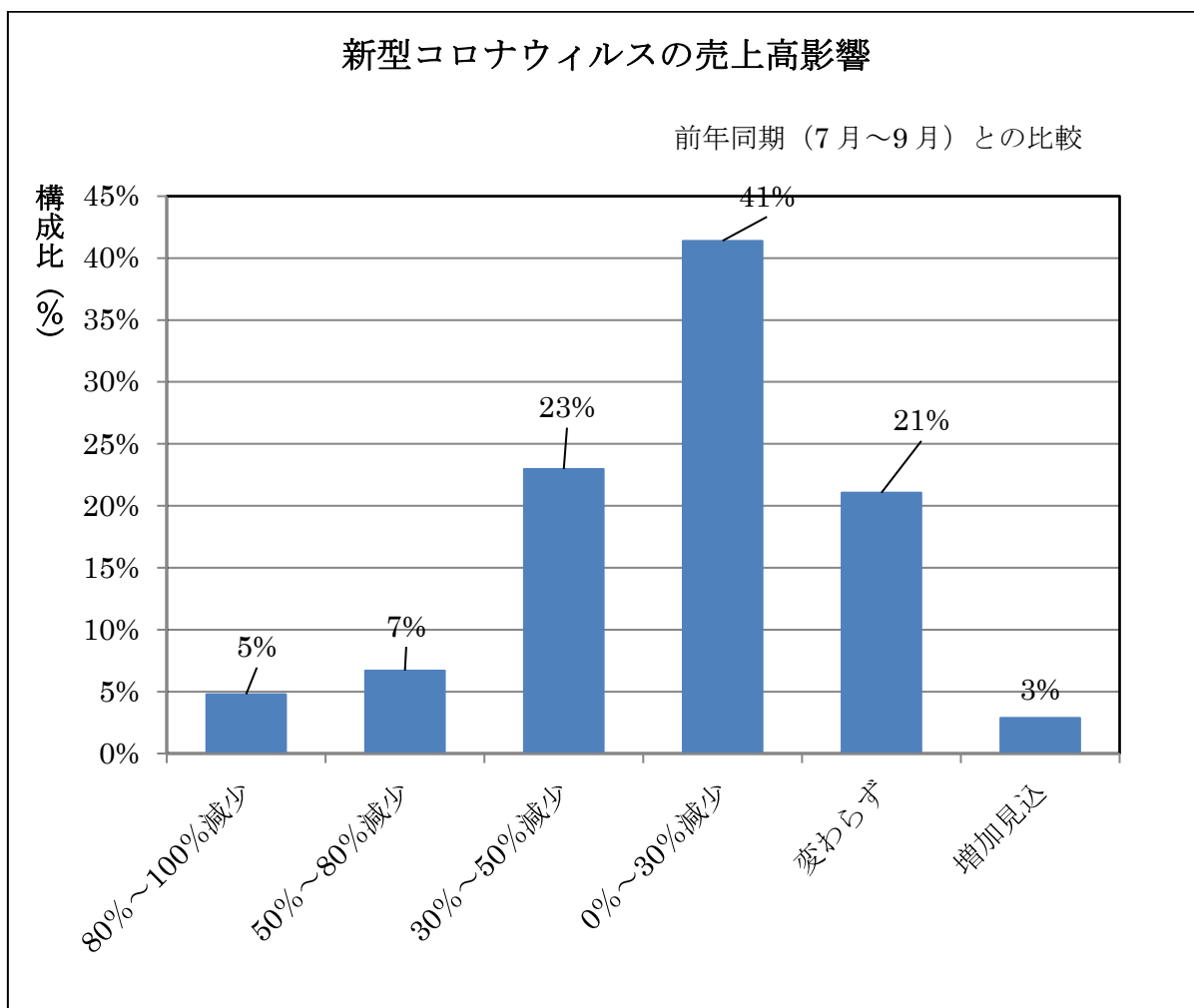
業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業、その他の製造業、小売業（飲・食料品）0.0ポイント、②サービス業▲5.7ポイント、③飲食店▲8.1ポイント、④化学・プラスチック製造業▲9.7ポイント、⑤建設業▲10.8ポイント

上昇
↓
下落



☆ 新型コロナウイルスの売上高への影響について



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・ 昨年の 19 号台風から 1 年近くになりますが、稼働率については、おかげさまで現状維持できていると思います。他人事のように話をしておりましたが、これほどコロナの影響があるとは考えてもみませんでした。新年度の予算執行を早めに行っていただければと思います。
- ・ 動きが少し悪い気がします。
- ・ コロナ関係の影響を受け木材の原木の受け入れが、バイオマス材に片寄ってしまい仕事量はあがるが、売上げが効率良く上がらない状況です。
- ・ 景気は悪くなっており、来年はもっと悪くなる見込みとの事。
- ・ 今後の先行きは未定です。
- ・ コロナウイルスの影響は特にありません。
- ・ コロナウイルスの影響により、現場の数が少なくなり売上げが減少してしまった。

設備工事業

- ・ コロナ消息後のチャンスを形にする為、準備をしながら経営を進めています。
- ・ 今が繁忙期と前々からの予定の工事物件が有り忙しいが、これからがコロナの影響で不景気になるのではないかと心配している。

繊維品製造業

- ・ コロナが消息しても、景気がいつ良くなるのか苦しい状況です。
- ・ 去年は増税前の駆け込みが 6 月ぐらいからあったので、単純に比較は難しい。
- ・ 車と建設関係がとくに悪い。このままだとかなり苦しい。
- ・ コロナ収束まで、がまんするしかないのでは。
- ・ コロナの影響大きいです。

食品製造業

- ・ 新型コロナウイルスの影響で本社部門での出張等が減っており、業績へ影響がでています。(出張費用減による経費削減)
- ・ 先の見えない状況でなんとも言えません。工場も稼働していますが、なかなか元へは戻りません。非常に厳しい日々を過ごしそうです。
- ・ 先日、緊急事態宣言が発出されたが、企業は具体的な対策がなく宣言の重みが薄いように感じる。経済活動をとめるのは良くないが、今までの売上欠損を取り戻そうと無理している企業は市で注意してほしい。一部の企業で現在の状況では考えられないことをしている。クラスターの恐れあり

機械・金属製品製造業

- ・ 長い長いトンネルを抜けて明るい世の中になることを期待しています。新型コロナウイルスも終息には、まだまだ遠いと思います。諦めないでがんばろうと思います。子供達が不自由でかわいそうです。
- ・ コロナの影響を危惧しております。
- ・ コロナの影響が大きすぎる。
- ・ ジワリとコロナが心配です。
- ・ 特別定額給付金 10 万円は、誰が負担するんだろうか？得をするのは働けない人より働かない人になってないか？収入が減った人より収入が無い人が得してないか？
- ・ 新型コロナウイルスによる影響度は若干あるが、受注済案件があるため大きな落ち込みはない。

- ・8月から注文問い合わせが減ってきました。
- ・9月以降の方が悪化しそうです。

化学・プラスチック製品製造業

- ・パソコンの購入を検討しておりますが、補助金等ありますでしょうか？コロナの影響で資金繰りに不安があるため先送りとなっております。
- ・まだ少ないが景気上昇する期待感か多くの引合が有る。今後に期待する。
- ・コロナに関する事だが、会社がひとつで運送部、加工部(これも2つにわかれている)があって、全体的な売上げは1割弱の減少ですが、加工部は半減以下で80%減です。全体の売上げが半分にならないので、助成金はダメと会計士より言われたが、その加工の仕事に従事している従業員がいるのでたいへん困っています。何とか相談する所はないのですか？
- ・受注回復の兆しがまだない状況。
- ・化粧品生産は、7・8・9受注が5%ぐらいです。
- ・一部車向け部品が落ち込んでいる。(約20~30%)他は変化ナシ。
- ・新しい案件に取り組んでいる状態です。従来からの仕事以外にも多方面で実績を上げたいと思います。

その他製造業

- ・コロナの影響はあるが、少しずつ回復傾向もあるが不安もある。
- ・少しずつ先が見えなくなっている。コロナウイルスの影響か？
- ・庶民出身の菅さんになったので徐々によくなると思います。
- ・イベント中止による売上減が生じている。
- ・我々の業績では世間の景気が悪くなってから少し間をおいて不況になることが多いので、今のところは何とかやっていますが今後が心配ではあります。

卸売業

- ・景気後退の入り口。まだまだこれから悪くなることを感じています。
- ・コロナによる人数制限がつづくかぎり、売上を上げる事はできない現況。
- ・今後は購買意欲が一時期と比較して上昇すると見込んでいます。

小売業 (飲・食料品)

- ・新型コロナウイルスの発生により、景気が悪くなったようだ。(4月以降)必要な物しか買わない。お金の使い方も変わったようだ。
- ・7、8月は暑さでお客様の来店が減少したように思います。
- ・あいかわらず景気は良くありません。
- ・コロナ影響が長期化する場合、継続的な補助が必要となります。
- ・普通の生活にもどってほしい。
- ・現在はコロナの影響もあるが、これから先悪化しなければよいです。ようは、これから悪化しなければと思います。
- ・COVID-19が特に騒がれていた3~5月頃は減少傾向でしたが、こここのところは上向きです。このまま突き抜けたいと思います。
- ・肉卸し売りは、まだ20%~30%マイナスの状況。居酒屋もTVニュースなどにより(コロナ関連)減少幅が動く傾向がある。
- ・7~9月はエアコン等の使用が長時間になる為、電気代が増え経費が多くなり大変です。

その他の小売業 (大型店含む)

- ・コロナウイルスの影響により、業績の悪い部門、逆に良くなっている部門とあります。新しい生活様式に合わせて対応する必要があります。
- ・どうなるか先が心配になる。
- ・コロナの影響が田舎の店舗まであるなんて戦時中を思い出される。
- ・全体的に悪いですが、2ヶ月つづけてかなり悪いです。
- ・5、6月が大変でした。

- ・コロナウイルスの為、自動車で出かける人が少ないので、ガソリンの売上が減少しています。
- ・イベントや祭りが中止になったので売上が減少して、これから先が心配です。
- ・音楽事業は、まだまだむずかしいです。消費がにぶっている。

飲食店

- ・佐野市のコロナに関する緊急事宣言の影響か？9月中旬から下落している。
- ・新型コロナウイルスで、どのように対応してよいか難しいです。今出来ることを1つ1つ向き合っていていこうと思います。
- ・各種報道などにある通り、飲食店の現状は最悪である。飲食店がウイルス蔓延であるかのような風潮にも心が痛む。大手企業の会食に対するスタンスが今後の飲食業界の動向を左右すると思う。
- ・イベントやクラブ活動、歓送迎会等の自粛が響いています。
- ・これからも皆様(会議所)の「お力」をよろしくお願いします。今までも本当にありがとうございます。

サービス業

- ・市内の不動産業に関しては、コロナウイルスによる直接的な影響は少ない印象です。不動産関連のニーズは常にありますので、ニーズに応えられるように安定した業務を心掛けます。
- ・首都圏の物件ばかりで、近隣の物件が少ない。
- ・持続化給付金や家賃給付金など1ヶ月50%減少や3ヶ月連続で平均30%減となっているが、どちらも対象にならないずっと20%~30%減の企業が、その他の給付金ももらえず再生の手立てが無い。
- ・業務依頼の予定はあるが、コロナによる延期が続いている状況。今後の見通しとしては多少ある。(予定通り行けば)
- ・コロナウイルスの影響が3~5月期はありましたが、台風19号型持続化補助金での対策が6月以降効果を発揮してくれ売上向上しています。
- ・非対面販売やMTG等に必要なPCやアプリ等の経費が増えてきた。
- ・電子書籍出版業界の下請けとしては、例年通りです。(販売数はコロナの影響で増加とききますが、個人的には変化を感じておりません。)
- ・いまだに先行きがわからない。これからいろんなターニングポイントがくると思う。
- ・コロナウイルスによって多大な影響はあるが、終息に向けて前向きに活動していきたい。
- ・コロナの影響は7月~9月は受けずに営業できています。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和2年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、209社（回答率72.1%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

| | |
|---------|-----|
| ① 建設業 | 25社 |
| ② 設備工事業 | 21社 |

(2) 製造業

| | |
|------------------|-----|
| ① 繊維品製造業 | 22社 |
| ② 食品製造業 | 18社 |
| ③ 機械・金属製品製造業 | 40社 |
| ④ 化学・プラスチック製品製造業 | 36社 |
| ⑤ その他の製造業 | 22社 |

(3) 商業・サービス業

| | |
|------------------|-----|
| ① 卸売業 | 15社 |
| ② 小売業（飲・食料品） | 23社 |
| ③ その他の小売業（大型店含む） | 27社 |
| ④ 飲食店 | 19社 |
| ⑤ サービス業 | 22社 |

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所